

第10回 日本成人先天性心疾患研究会 プログラム・抄録集

2008年1月12日（土）～13日（日）（研究会）
2008年1月11日（金）（サテライトシンポジウム）
東京女子医科大学 弥生記念講堂

研究会会期

2008年1月12日(土)～13日(日)

サテライトシンポジウム

2008年1月11日(金)

会長

中西敏雄

東京女子医科大学循環器小児科

会場

東京女子医科大学弥生記念講堂

学会事務局

東京女子医科大学 循環器小児科

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

TEL : 03-3353-8111、FAX : 03-3356-0441

E-mail : adultchd@gmail.com

共催 (財) 日本心臓血圧研究振興会

ご挨拶

第10回日本成人先天性心疾患研究会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

「第10回 日本成人先天性心疾患研究会」を2008年1月12日（土）、13日（日）の2日間、東京女子医大弥生記念講堂で開催いたします。例年と会場が違いますのでご注意ください。

また、前日、11日（金）には、サテライトシンポジウムを開催致します。サテライトシンポジウムではボストン小児病院 Dr. Landzberg、フィラデルフィア小児病院 Dr. Fogel によるフォンタンについての招請講演を2つ予定しています。ボストン小児病院、フィラデルフィア小児病院ともに、フォンタン手術を多数施行しており、遠隔期の患者さんが多数おられる病院です。フォンタンの遠隔期についての内容の濃い講演が聞けると思います。

研究会の方へは、ほぼ例年通りの56題の演題の応募をいただきました。韓国からも例年の様に、4題の応募をいただきました。会長の思い入れで、じっくり演題を聞きたい、じっくり討論したい、との気持ちから、一般演題は8分口演、4分討論といたしました。その代わり、症例報告は、失礼ながら、4分口演、3分討論とさせていただきました。それでも、13日（日）の終了時間が例年より遅くなってしまいました。会長に免じてお許し下さい。

成人先天性心疾患患者の心の問題は、今後ますます重要な課題となると思います。Ms Moon は、Samsung Medical Center の成人先天性心疾患部門のコーディネーター的な仕事をされている方で、長年、心の問題の研究をしておられます。今回、お願いして、じっくりお話を聞くことにしました。

特別講演では、ボストン小児病院の Dr. Landzberg に、成人先天性心疾患における心不全の話をお願いしました。日常診療の上で、心不全の治療に苦労されている先生方も多いと思います。明日からの診療に役立つ話が聞けると思います。

また、Asan Medical Center の Dr. Ko にフォンタン後の不整脈の講演をしていただきます。今回の研究会には会長の要望演題として、多数のフォンタンについての演題を応募いただきました。フォンタンの遠隔期についての講演、発表、討論、すべて充実したものになると確信しています。

フィラデルフィア小児病院の Dr. Fogel には、右室機能を測定する上で MRI の有用性について講演していただきます。MRI は成人先天性心疾患の管理にますます重要な役割を果たすようになると思います。また、様々な心不全パラメーターについての会長要望演題も企画致しました。

必ずしも先天性心疾患をもっていなくても、未熟児が成人になると様々な心血管系の問題が生じることが危惧されます。その様な未熟児の問題について、今後の課題を含め、女子医大の楠田先生に講演いただきます。お楽しみ下さい。

成人先天性心疾患患者は、早期動脈硬化や内皮機能異常など血管系にも異常をきたしや

すい可能性は容易に推測できます。成人先天性心疾患における内皮機能の研究はまだあまり多くなく、今後、発展すべき分野だと思えます。そこで、この方面に多数の研究発表をされ、我が国の先端研究者である広島大学の東先生に講演をお願いしました。東先生の講演が刺激となって、成人先天性心疾患の内皮機能の研究がますます発展することを願っています。

その他にも、症例報告、診療体制の問題、チアノーゼ、肺高血圧、妊娠などの重要な問題についての多数の発表があります。

一人でも多くの皆様方が討論に参加していただき、実りある会になるように願っています。

最後に、今回の研究会開催に際して、多くの方に多大なご協力をいただきました。皆様に、心から深謝申し上げます。

第10回日本成人先天性心疾患研究会会長 中西敏雄
(東京女子医科大学循環器小児科)

【スライド作成についてのお願い】

- **口演時間**：症例報告は発表 4 分・討論 3 分、
一般演題は発表 8 分・討論 4 分です。
- **発表方法**：P C プレゼンテーションのみの方式となります。
- **スライドは全て英語で制作して下さい。**

【参加者へのお知らせ】

- ・ **開 場**：1 月 11 日（金）：18 時
1 月 12 日（土）： 8 時（時間前には入場できません）。
1 月 13 日（日）： 8 時（時間前には入場できません）。
- ・ **参加費**：5,000 円
- ・ **サテライトシンポジウム参加費**：1,000 円
- ・ **プログラム抄録集**：1,000 円
会員、演者には郵送済みです。それ以外にご購入希望の方は一部 1,000 円で販売いたします。
- ・ **ランチョンセミナー**：12 日（金）、13 日（土）のランチョンセミナーでは昼食をご用意致します。

【演者の先生へのお願い】

・ **口演時間**：症例報告は発表4分・討論3分、一般演題は発表8分・討論4分でお願ひします。発表時間は、演者に個別にお知らせいたします。発表時刻20分前に、演者席近くの演壇下に御着席ください。発表は日本語ないし英語でお願ひいたします。

・ **発表方法**：■ PCプレゼンテーションのみの方式となります。

■ スライドは全て英語で制作して下さい。

■ 発表に当たっては、(1)ご自分のPC、(2)メディアの持ち込みの2通りの方法がありますので、どちらかを選択して準備して下さい。

■ 当日は、発表いただきます30分前（朝一番のセッションのみ）～60分前までに必ずPCセンターにお越し下さい。PC・メディアの作動確認と登録をいたします。

【PCセンター】

場 所 弥生記念講堂、左奥
開設時間 1月12日（土） 8：00～
1月13日（日） 8：00～

【PCをお持ち込みいただく方へ】

■ Windows、Macintoshともに **D-sub15ピン**といわれるモニター出力端子が必要です。

PCセンターには、プロジェクターとつなぐD-sub15ピンの接続ケーブルを用意します。iBookなどのD-sub15ピン変換コネクタが必要なPCの場合には、同コネクタを必ずご持参下さい。

■ 事前に（会場にお越しいただく前に）、お持ち込み頂くPCをプロジェクターに接続して、画像が（特に動画が）出力していることを確認しておいて下さい。

■ スクリーンセ이버ならびに省電力設定は予め解除して下さい。

■ 電源ケーブルをお持ち下さい。

【メディアのみをお持ち込みいただく方へ】

■ 以下のPowerPointで作成されたファイルのみが使用できます。

・ PowerPoint2003 (Windows) (Power Point 2007 使用の場合は、PCをお持ち込み下さい)

・ PowerPoint2001/X (Mac OS 9 または Mac OS X)

■ 利用可能なメディアは次のとおりです。

(1) **CD-R** <CD-Rの書き込みはハイブリッドフォーマットにして下さい。なお、CD-RWはご使用になれません。

(2) **USB メモリー**

■ フォント：OSに標準で搭載されているフォント、Times New Roman Century (MSゴシック、MS明朝)のみをご使用下さい。

■ メディアのみをお持ち頂く場合には、動画の動作は保証できません。

■ PCにコピーしましたメディアの内容は、事務局で責任を持って消去いたします。

【座長の先生へのお願い】

担当されるセッション開始 20 分前までに座長席近くの演壇下に御着席ください。口演会場ではアナウンスはありません。時間になりましたら、ご登壇いただき、自己紹介していただいた後、セッションを開始して下さい。時間厳守でセッションの進行をお願いします。

進行をスムーズに行うために、質問者は、座長への断り無く、マイクの前に進んでいただくよう促して下さい。英語でのセッション中で、質問が日本語の場合には、通訳をお願いいたします。

【参加の先生方へのご案内】

構内は禁煙となっています。

食事をする場所は近くには多くありません。昼食時には、昼食付きのランチョンセミナーを開催いたします。

進行をスムーズに行うために、質問者は、座長への断り無く、マイクの前に進んでいただくようお願いいたします。

【会議, その他の御案内】

幹事会

1 月 12 日 (土) 12 : 00 ~ 13 : 00 弥生記念講堂地下、B 会議室

懇親会

1 月 12 日 (土) 19 : 00 ~ 20 : 30 懇親会 (東京女子医科大学内 レストラン ラ・ポルト)

医療機器展示: 弥生記念講堂ホワイエ

ドリンクサービス: 弥生記念講堂ホワイエ

会場内の呼び出しについて

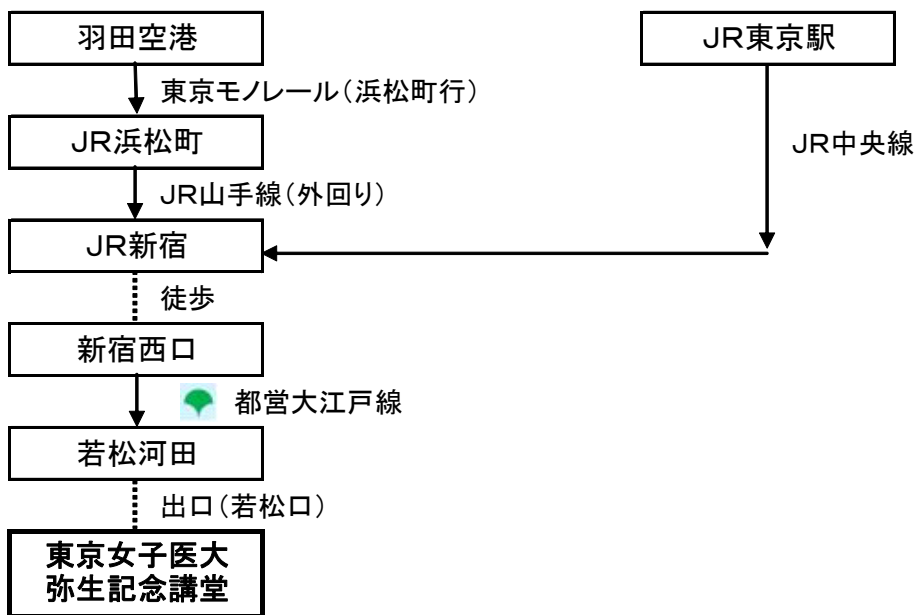
原則として会場内の呼び出しはいたしません。また、各自の携帯電話はマナーモードにしてお使い下さい。

学術集会期間中の本部連絡先

学術集会期間中の連絡先は下記になっております。

弥生記念講堂 TEL : 03-3353-8111 内線 27151・28482

【ご案内】



【ご案内】

